

## 令和5年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	きたおか ゆうき	
氏名	北岡 有喜	
所属・役職	社会医療法人 岡本病院（財団）理事・ 京都岡本記念病院 副院長 特定非営利活動法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター 顧問	
活動拠点	京都市を拠点に全国展開中	
略歴	<p>1985年に医師免許取得後、京都大学医学部附属病院、市立舞鶴市民病院、大津市民病院などを経て、1995年から国立京都病院(現 京都医療センター)に着任。</p> <p>京都大学大学院修了（医学博士）、同志社大学大学院修了（政策科学博士）。</p> <p>2002年5月～産科医長、2003年7月～医療情報部長に就任。</p> <p>2004年5月～特定非営利活動法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター(SCGJ)顧問として、個人向け健康・医療・福祉・介護履歴管理サービス「ポケットカルテ」や「地域共通診察券（すこやか安心カード）」を考案し運用を開始。</p> <p>2006年8月～独立行政法人国立病院機構本部 情報化統括責任者(CIO)補佐官兼務。</p> <p>2014年4月～地方公共団体情報システム機構 経営審議委員会委員兼務。</p>	
地域情報化の専門分野・技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1 地域情報化全般</li> <li>○3 社会保障・税番号制度</li> <li>○7 教育／子育て</li> <li>○8 医療／福祉</li> <li>○12 その他（地域包括ケアなど）</li> </ul>	
専門分野	<p>オープンデータ EBPM（エビデンスに基づく政策立案） AI活用 自治体システムの標準化・共通化 行政手続オンライン化 自治体セキュリティ 自治体システム調達/地域情報プラットフォーム ネットワークインフラ（Wi-Fi/LPWA/光ネットワーク） デジタルデバイド対策 5G マイナンバー 教育情報化/情報教育 働き方 子育て RPA導入 医療・介護・健康 個人情報保護 スマートシティ その他</p>	
自治体向けメッセージ	<p>「ポケットカルテ」及び地域共通診察券「すこやか安心カード」は、2001年から、ITコンソーシアム京都（旧 京都情報化推進協議会+京都情報基盤協議会）の医療情報化部会で検討してきた成果を具現化したものです。貴自治体でも有効利活用していただければ幸いです。お気軽にお問い合わせ下さいませよう宜しくお願い申し上げます。</p>	

	関連サイト	<p>独立行政法人国立病院機構京都医療センター医療情報部：  <a href="http://www.hosp.go.jp/~kyotolan/html/guide/medicalinfo/medicalinformatics/main.html">http://www.hosp.go.jp/~kyotolan/html/guide/medicalinfo/medicalinformatics/main.html</a>          特定非営利活動法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター          (SCCJ) : <a href="http://www.sccj.com/">http://www.sccj.com/</a>          SCCJ どこカル. ネットプロジェクト : <a href="http://www.dokokaru.net/">http://www.dokokaru.net/</a>          ポケットカルテ : <a href="http://pocketkarte.net/">http://pocketkarte.net/</a></p>
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<p>医師兼エンジニア兼公共政策の専門家としての豊富な病院情報関連システム開発・実装・運用経験をバックグラウンドに、特定非営利活動法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター顧問として、個人向け生涯健康・医療・福祉・介護履歴管理サービス「ポケットカルテ」及び地域共通診察券「すこやか安心カード」を考案し、運用を開始しました。これらのサービスは、利用者の生涯の健康・医療・福祉・介護にかかる情報を電子化（電子カルテ）して一元に管理し、簡単に閲覧可能とすることで更なる医療サービスの向上と個人の健康管理への貢献を目的としており、特定健診・保健指導データにも対応可能なサービスです。この成果に対して、2012年6月に総務省「情報通信月間」近畿総合通信局 局長表彰を受賞。また、2015年3月には総務省「地域情報化大賞」大賞/総務大臣賞を受賞しています。</p>
	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト	<p>特定非営利活動法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター顧問、あるいは独立行政法人国立病院機構本部の情報化統括責任者(CIO)補佐官として、全国の公的病院の情報化（電子カルテ導入等）に関わってきました。</p> <p>長崎県の「あじさいネット」のVPNネットワーク等もその成果の一つです。今後も、医師兼エンジニア兼公共政策の専門家としての豊富な病院情報関連システム開発・実装・運用経験と、自らが特許等を保有する個人向け生涯健康・医療・福祉・介護履歴管理サービス「ポケットカルテ」及び地域共通診察券「すこやか安心カード」の知的財産を有効に利活用して、全国各地の保健医療・介護・福祉等の充実にかかる支援に取り組みたいと思います。</p>